

議員提出第9号

小中学校給食費の無償化を求める意見書

吉川市議会会議規則第13条の規定により、上記意見書を別紙のとおり提出する。

平成30年6月15日

提出者 吉川市議会議員 遠藤 義法

賛成者 吉川市議会議員 佐藤 清治

〃 雪田 きよみ

吉川市議会議長 中嶋 通治 様

提案理由 口頭

小中学校給食費の無償化を求める意見書

公立小学校及び中学校において、保護者が負担する給食費の平均月額は、平成28年度の文部科学省の学校給食実施状況等調査によると、小学校で約4,323円、中学校で約4,929円にのぼり、全体的に微増傾向にある。

学校給食の普及充実と食育の推進は学校給食法に定められ、給食は教育の一つとして重要な役割を果たしている。また、様々な事情により朝食をとっていない子どもがいるなど、成長期に十分な栄養が確保できないことが問題になる中、給食は、すべての子どもたちが適切な栄養をとり、健康的に成長するための食のセーフティネットの役割も果たしている。

2016年3月の内閣府・経済財政諮問会議において、子育て世帯の支援拡充として給食費の無償化が打ち出されており、この間の各自治体の努力によって2017年度末で83市町村へと無償化は広がっている。さらにその理由として、子育て支援や給食を教育の一環ととらえる「食育」の推進をあげる自治体が増えており、給食費の保護者負担を軽くすることは、教育の充実を進めることにつながるとしている。

よって、政府の施策による小・中学校の給食費無償化を早期に実現するよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年6月15日

埼玉県吉川市議会

提出先
衆議院議長
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
文部科学大臣